

今回は「グランドデザイン小委員会」と「校名・園名小委員会」についてお知らせします。

まず、グランドデザイン小委員会では、学校づくりに一番大切なブロック制について協議されました。学年の区切り、生活拠点、メリット、デメリットを検討し、5・4制がよいのではという意見が多くありました。その中で幼稚園を含めた3・5・4制もよいのではないかと検討した結果、3・5・4制にまとり、市教委・校園長会へ提案しました。11/11日(金)に市教委・校園長会があり、準備委員会浅沼委員長様より提案していただき、教育長からも幼小の連携、中学生から転入してくる生徒への配慮、教員の配置問題などの問題点についてお話いただきました。協議の結果、3・5・4制で教育委員会へ提案することになりました。

続いて校名・園名小委員会についてお知らせします。10月までに校名・園名応募総数が204集まりました。これから検討し、準備委員会へ提案することになります。昔、昭和地区には、富山、下倉、日美、維新の4つの小学校があったことも考慮しながら校名を検討したいと思っています。たくさんの応募ありがとうございました。次回は、準備委員会で決定した校名・園名についてお知らせします。

ブロック制	生活拠点	メリット	デメリット
6-3	1~6年 →昭和小	<ul style="list-style-type: none"> ・混乱が少ない ・児童生徒の負担が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化が少なく、義務教育学校としての意識がなくなる ・特色がない
4-2-3	7~9年 →昭和中		
4-3-2	1~4年 →昭和小	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階を考慮できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生が自立したリーダーになるのは難しい。 ・中学校の普通・特別教室が不足する。
4-5	5~9年 →昭和中		
5-4	1~5年 →昭和小 6~9年 →昭和中	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生、7年生の成長が期待できる ・中1ギャップ緩和 ・後期課程(6~9年生)4年間の教育活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生の負担 ・行事の大幅な変更の可能性あり ・手本になる上学年(6年生)がいなくなる

〈五つ星学園の子どもの様子〉



昭和幼



昭和小



維新幼



維新小



昭和中

